



学園だより

# こぶし 辛夷花

発行 社会福祉法人上の原学園

住所 茨城県桜川市上野原地新田159-1 Tel.0296-75-2509(代)

ホームページアドレス <http://www.u-gaku.or.jp/>

メールアドレス [uenoharagakuen@basil.ocn.ne.jp](mailto:uenoharagakuen@basil.ocn.ne.jp)



## 納涼祭

### 4年ぶりの開催！ご来場いただいた皆様ありがとうございました！

令和五年八月二十六日、学園グラウンドにて快晴の下に納涼祭が盛大に開催されました。新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年までは利用者さんとスタッフのみの開催でしたが、今年は四年ぶりに保護者や地域の方々をお招きしての納涼祭となりました。

はじめに小松寄理事長からの挨拶のあと、桜川市長大塚秀喜様、桜川市議会議員仁平実様、茨城県議会議員設楽詠美子様からの激励のお言葉をいただき、納涼祭がスタートしました。

ポップコーンやから揚げ、焼きそば、かき氷などの数多くの模擬店が出店し、多くの笑顔が飛び交う楽しいひとときとなりました。

イベントでは児童棟の利用者さんによるダンス発表、盆踊りなどが行われ、参加者全員が一体感を味わい、夏の思い出を作りました。

そして最後に打ち上げ花火の時間となり、一発打ち上がる度に会場のあちらこちらから歓声が上がりました。

残暑が厳しい日ではありましたが、暑さに負けない、元気と笑顔が溢れる納涼祭でした。ボランティアの方々やスタッフの多大なるご協力に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。次回の納涼祭も、皆さまと共に素晴らしいひとときを創り上げることを楽しみにしています。

松本 記

# 令和5年度納涼祭

## 来賓

桜川市長 大塚 秀喜

茨城県県議会議員 設楽 詠美子

桜川市市議会議員 仁平 実

### 協賛企業・協賛者

- ・ 曉飯島工業(株)
- ・ 石田道路(株)
- ・ (有)岩瀬衛生社
- ・ エコワークス(株)
- ・ 奥順(株)
- ・ (有)坂戸サンオート
- ・ 保険オフィスさとら
- ・ (株)筑波銀行筑西支店
- ・ (株)小築建設
- ・ (有)オノデンキ
- ・ (有)斉藤家具センター
- ・ 税理士法人 永光パートナーズ
- ・ (株)チクセイ21
- ・ (株)フケタ設計
- ・ (株)マルニ工業
- ・ (有)サンエスリース
- ・ (有)白井商店
- ・ (有)須藤設備
- ・ (有)館住建
- ・ (有)水越電設
- ・ ワタキューセイモア(株)
- ・ (株)トーホー・北関東
- ・ (株)みたぎき米穀
- ・ (有)漢屋味噌醸造所
- ・ 大関商店
- ・ 八日屋
- ・ 池沢精肉店
- ・ (有)大場園ランチ
- ・ 恵比寿屋
- ・ 藤田青果店
- ・ メグミルクよもぎだ店
- ・ (有)山川商店
- ・ コカ・コーラ(株)桜川支店
- ・ 協和調剤薬局 上の原支局
- ・ 桜川市社会福祉協議会
- ・ 社会福祉法人 征筆会
- ・ 岩瀬地区民児協障害福祉部会
- ・ 和久井 武
- ・ 上野 正臣
- ・ 又村 和子
- ・ 向田 邦雄
- ・ 柴田 次男
- ・ 宮城 陸
- ・ 芦澤 幸一
- ・ 小川 とみい
- ・ 中原 昭
- ・ 和島 有也
- ・ 福吉 佑香
- ・ 齋藤 修
- ・ 斉田 愛子
- ・ 芝野 和代
- ・ 藤枝 藍

### ボランティア

- ・ 協和ふれあい母親クラブ
- ・ 桜川市民生委員
- ・ 加波山囃子保存会
- ・ 桜川市商工会女性部
- ・ 舞姫の会
- ・ (有)斉藤家具センター 大谷
- ・ 森煙火工場
- ・ 下館第二高等学校生徒
- ・ 岩瀬高等学校生徒
- ・ 筑波研究学園専門学校生徒
- ・ 菊池 紗奈
- ・ 柴田 次男
- ・ 芝野 和代
- ・ 藤枝 藍

皆様ありがとうございました！

※順不同(敬称は省略させていただきます)



## 筑西わっしょいカーニバル

新型コロナウイルスが五類感染症へと移行した事を受けて、四年ぶりに筑西わっしょいカーニバルが開催されました。

上の原学園では七月二十九日の土曜日に参加し、私自身、筑西わっしょいカーニバルで神輿を担ぐ事は初めての体験でしたので、緊張しながらも楽しみにしていました。実際に神輿を担ぎ、どれほど大変であるのかを実感しました。想像以上に重く、肉体的にきつい印象を受けましたが、「重く」という言葉には重量の意味以外での想いを感じながら担ぎました。神輿を担いでいる最中は身体的、精神的にも辛かった事は否めませんが、終わってみると色々な事に気付かされた気持ちになり、今では参加させていただいて本当に良かったと感じています。

今回のお祭りに参加した経験や想いを忘れず、また来年の開催も楽しみにしたいと思います。

泉記

# 成人寮



# Bユニット

七月三日にBユニットで調理実習を行い、バナライスクリームにチョコレートソースやカラースプレーでトッピングをして食べました。汗ばむ陽気の中、冷たいアイスクリームはとても美味しく、終始皆さんの笑顔が見られました。

奈良 記

# Cユニット

六月二十七日、Cユニットでは園外活動で小山思川温泉に出掛けました。昼食は季節に応じた食材を用いた御膳もの、丼もの、麺類、デザート等、バラエティーに富んだメニューで皆さんお腹いっぱい食べる事が出来ました。露天風呂付きログハウスを借りて、温泉に入ったり、室内でゆっくりと癒しの時間を満喫出来ました。

大塚 記



# Dユニット

七月十八日栃木県小山市にある思川温泉に出掛けました。出発前からとても楽しみにされている様子でした。温泉施設では貸し切りの露天風呂でコテージを借りて過ごしました。到着後は、天井やうな重などそれぞれ好みのメニューを選んで食事を楽しみました。ボリュームがありとても満足した様子でした。食後のデザートでかき氷も食べて喜んでいました。

昼食後は男女それぞれに分れて露天風呂に入りました。外に流れる思川の風景を眺めながらゆったりとした時間を過ごす事が出来ました。短い時間でしたが、利用者の皆さん楽しい時間を過ごす事が出来て満喫された様子が見られました。

坂入 記



# Eユニット

九月十九日にFユニット園外活動として、小貝川ふれあい公園と下妻イオンに行つて来ました。

秋の気配はしてきたものの、この日も厳しい残暑でした。そんな暑さに負けず、利用者さん達はとても楽しみな様子でした。

小貝川ふれあい公園では園内を散策し、皆さんで記念撮影をしました。その後、下妻イオンに移動して、フードコート内でお昼ご飯を食べました。利用者さん達は、たくさん並ぶお店の中から好きなお店を選び、食べたいものを頼んでいました。

いつもとは違う雰囲気の中で楽しく食事が出来ました。昼食後は、気に入った服を買ったり、好きなお菓子や飲み物を買って、飲んだり食べたりして過ごし、皆さん、久しぶりの外出を満喫出来た様子でした。

宮田 記



# 児童棟



# 夏休みの生活

児童棟では夏休み期間中、毎朝体操とダンスを行いました。製作や水遊び、クリームソーダ作りなど、夏ならではの遊びを取り入れたレクリエーションを行い、職員も楽しみながら活動に参加しました。子供達からとても好評で、「またやりたい!」との声もありました。レクリエーションを通して、より子供達と職員の関わりが深まったのではないかと思います。

また八月二十六日に、上の原学園で納涼祭が開催されました。約四年ぶりの開催という事で、たくさんのお客様や保護者の方々に参加いただきました。児童棟では、子供達が夏休み前から練習していたダンスを披露しました。一生懸命に練習した成果を出せたようで、披露した後は「楽しかった!」や「頑張った!」と笑顔で話してくれました。

夏休み後も、子供達が楽しめるようなレクリエーションを行いたいと思います。

成田 記



# 園外活動 肉原イオン

九月九日に園外活動で内原イオンに行きました。久しぶりのイオンモールという事で、子供達全員すごく楽しみにしていました。

グループごとに分れて行動しました。ゲームセンターでゲームをしたり、雑貨屋さんに行ったり、昼食は一人一人好きな物を食べていました。初めてたこ焼きを食べた方もいたり、すごくうれしそうなお顔をしながら食べていたのが印象に残っています。私もすごく幸せな気持ちになりました。笑顔あふれる園外活動になりました。

荒川 記



# かへん・だんじ

九月十九日にJユニットの園外活動として下妻イオンへ行ってきました。久しぶりにイオン店内へ出掛けるとあって、朝から気持ちが高ぶり、出発が待ち切れない利用者さんがほとんどでした。下妻イオンへ到着後は各担当に分かれて、利用者さんそれぞれのリクエストに応えつつ、手持ちの予算を考えながら、買い物や食事を楽しみました。楽しい時間はあっという間に経ち、学園へ帰園する時間になると、もっと買いたい、楽しみたいと募る気持ちを抑えつつ、「また買いたいね」と笑顔で話す利用者さんが多かったです。

これからの園外活動も色々な場所で、貴重な体験が出来る事を願いつつ、日々の体調管理をしっかりで行いたいと思います。

泉 記



# サポートセンターから おわりです。ゆず もももはなまる

七月二十九日に協和地区の新栄町子供会主催の夏休み会に参加させて頂き、スイカ割りに挑戦しました。

お子さんたちが目隠しをして懸命にスイカを探す姿を見て、「がんばれー!」「もつと前、もう少し横!」と笑顔で声援を送りました。

その後は、利用者の皆さんの番です。空振りや悔しそうにする方、見事スイカに命中し、子供会の方々とハイタッチで喜ぶ方：皆さん夢中になって参加していました。

終了後は、割ったスイカをご馳走になり、「甘いね」「美味しいね」と嬉しそうに頬張る姿が印象的でした。

コロナ禍で地域交流が十分に出来なかったここ数年ですが、今回子供会主催の行事に参加させて頂き、楽しい夏の思い出となりました。

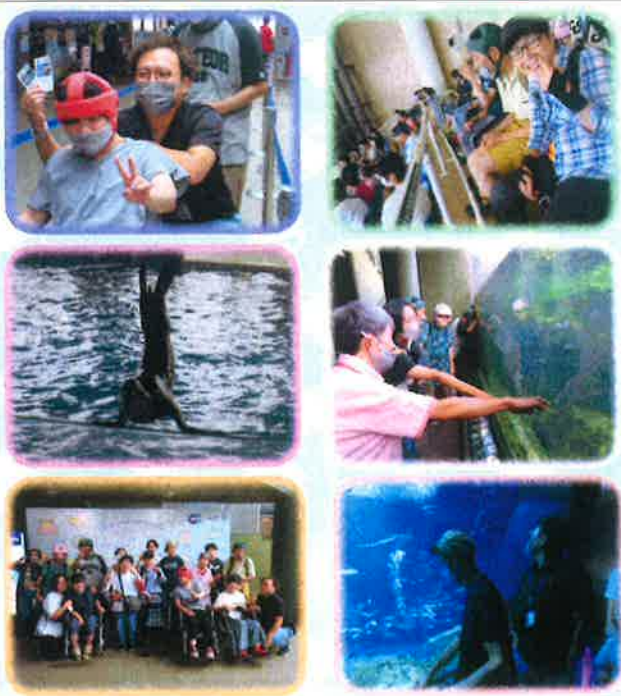
飯沼 記



# てくしゅとステンプ

九月六日に園外活動で大洗水族館に出掛けてきました。久しぶりの遠出ということで皆さん数日前から楽しみにされていました。イルカショーの観覧の際には音楽に合わせて手拍子や拍手をしたり、「かわいいね」「すごいね」と話していたりとそれぞれ楽しむことが出来たようでした。昼食は普段食べられない海鮮料理やアイスを味わい、お土産も好きな物を購入し満足そうでした。利用者様だけでなく、スタッフにとっても充実した一日となりました。

飯泉 記



# 特別養護老人ホーム 上の原

## 歌王会

特別養護老人ホーム上の原では今年度から新たな試みとして、有志の皆様で歌を合唱する会を始めました。その名も「歌王会（うたおうかい）」。「きっかけは入居者様の一声。みんなで集まって何かできないかと考えていたところ、ある入居者様がみんなで歌を歌う、そんな集まりをやりたいと仰られ、その一声でこの会が発足しました。」

歌を歌うことが好きな入居者様、声を掛けて興味をお持ちになった入居者様などがユニットの垣根を越えて一堂に会し、懐かしの童謡などを中心に一緒に歌って楽しまれています。

「誰でも知っていて、誰でも歌える童謡なんかいな。」と入居者様の一言から始まった、

【うたおうかい】  
コロナが落ち着いて、やっとユニット間の交流が出来る様になり、入居者様が皆で楽しめる企画を考えていた矢先の一言で決まった、

### 【歌王会】

五月十三日に第一回を開催しました。参加された入居者様は七名。歌唱曲は「花」と「ちようちよ」でした。出だしは手探りでしたが「最初はこんなもんだ。」と鼓舞しながらのスタートでした。その後第二回は十六名が参加。第三回になると参加者は一挙に三十名となり、歌唱曲も夏らしい選曲とし、入居者様から「楽しかったよ」と声が聞かれこの会を続けていく自信が湧きました。

第四回では「四季のうた」を歌いながら涙ぐむ入居者様の姿もあり、胸が熱くなるような様子を見る事ができました。第五回目には総勢三十六名となり、秋以降の発表会に向けて「四季のうた」を練習する入居者様に笑顔がみられました。「誰でも知っていて、誰でも歌える童謡」が、こんなにも入居者様の心に響くなんて感動です。会の実現に尽力いただいた皆様に感謝いたします。

笠原 記



## 納涼祭

### フォトギャラリー

八月二十六日に上の原学園で納涼祭が開催され、特別養護老人ホーム上の原の入居者様も参加されました。今回は四年ぶりにご家族様はじめ地域の方にも参加いただき、久しぶりの地域交流、家族団欒のひと時をお過ごしいただくことが出来ました。参加いただいた入居者様の皆様も、久しぶりの屋外でのイベントを楽しんでいらつしやうたご様子でした。



久々の屋外でのひと時を皆様楽しく過ごされていました



ヨ-ヨ-釣りに挑戦！お祭りの勇気を楽しみました！



この日は良く晴れて暑く、かき氷がおいしかったです



射的ブースでは景品を狙いずまして見事命中！

# 第8回 福祉の聲

暦の上では秋になりましたが、未だ残暑厳しく、またコロナ感染者の増加やインフルエンザの流行と、平穏な日常がいつ戻って来るのか見通しが立たない日々が続いております。皆さまにおかれましては健康に留意してお過ごしのことと思いますが、今回は福祉サービスと相談支援員の関わりについて述べさせていただきます。

障がいを抱える方が自立した日常生活、社会生活を営む事が出来る様に、ベストな支援が出来る事業所を繋ぐ役割が相談支援員の仕事です。この事業所と「繋ぐ」という事が福祉サービスと相談支援員の関わりです。障がいと一括りに言ってもその症状や状況は人それぞれであり、どんなサービス支援が適しているか、どんな支援が必要になるのかは人それぞれです。

それぞれの方にあつたサービスの提供が出来るよう、様々な事業所とは日頃から情報の共有を行い、また早急に対応せざるを得ない際には直ぐに事業所が利用できるような態勢づくりが必要です。

相談支援員は各市町村の役所及びサービスを提供する事業所と連絡を密にしておくことで、早急な場合にでも直ぐに対応できるようにしておくことも重要です。

これらが福祉サービスと相談支援との大きな関わりだと思えます。今後も様々な機関と情報を共有し、関わりを持ちながら、ご利用者の望むサービスの提供を目指していきたいと思えます。

枝 記

# ナースコール



## 五類移行後の新型コロナウィルス、施設での対応

五月より新型コロナウイルスが五類に移行しましたが、感染症は現在も続いています。

上の原では八月に各施設で新型コロナウィルスに感染する職員、利用者様が相次ぐ形となりました。感染対策のおかげもあつてか、大規模なクラスターにはならず感染拡大を留めることが出来ている状況です。ご尽力頂きました協力医療機関、看護職員、支援員や介護職員、栄養課職員、事務職員など対応にあつた一人一人の職員に感謝します。

またコロナ対応については対応の改善点など多数の意見もありました。この経験を今後の新型コロナウィルスの対応に活かし、感染を拡大させないことを念頭におき業務に励む所存であります。

加藤 記

# 調理の窓



今回は、今が旬のナスについてご紹介いたします。

ナスには、食物繊維やカリウム、葉酸、ポリフェノールが豊富に含まれています。ナスの栄養的効果的な摂取方法として、皮ごと食べるのがポイントです。ナスの皮にはポリフェノールの一種であるナスニンが多く含まれており、免疫力やアンチエイジングの他、がん予防にも効果があるとされています。調理する前には、アク抜きをするのが一般的ですが、カットしたナスを水にさらすと栄養素が流れてしまう為、長時間水に漬けることは避けましょう。

調理法としては、油と一緒に調理することで、皮に含まれるポリフェノールの栄養素を最大限に発揮してくれるので、煮たり茹でたりするよりも「揚げる」「炒める」といった調理法が効果的です。ナスは夏バテ予防にも最適な食材なので、この時期に摂取して暑い夏を乗り切りましょう！

野沢 記

# うまかっぺ祭り開催のお知らせ

このたび四年ぶりに上の原学園グラウンドにてうまかっぺ祭りを開催することとなりました！

- 期日 十一月二十三日(木) 勤労感謝の日
- 時間 十一時~十四時

★ボランティア募集中★

【問い合わせ先】TEL 0296・75・2509 【中山】  
TEL 0296・71・6888 【真崎】



R1年うまかっぺ祭りの様子

# サービス説明会

六月二十四日、上の原学園の障がいサービスの利用に関するサービス説明会が開催されました。今年は四年ぶりに会場を設けての開催となり、フィールド班によるバーベキューも催されました。



# 霜月会



六月七日に開催された第五十五回霜月会ソフトボール大会に参加させていただきました。四年ぶりとなった今回の大会は最高気温が三十度に迫る夏日の中の開催となりました。上の原学園チームは初戦から白熱した戦いが続きましたが、学園から来てくださった多くの利用者さんの応援もあり、皆さんの汗を掻きながら全員が一丸となってプレーをした結果、優勝を飾ることができました。

普段ふれあう機会のない利用者さんや、四月に一緒に入職した職員の方々と共に大会に参加し楽しめたことを大変有意義に感じました。

柳田 記



# 新採メンツ紹介

## 上の原学園成人寮

### 大島恵子



【出身地】筑西市  
 【趣味】手芸、カラオケ  
 【一言】一日も早く、お仕事や皆様慣れる様に頑張りたいと思います。宜しくお願致します。

### 本橋純代



【出身地】下妻市  
 【趣味】ショッピン  
 【一言】福祉の仕事は初めてでわからない事も多いですが、皆さんについて行くように頑張りますのでよろしくお願致します。

### 廣瀬和子



【出身地】筑西市  
 【趣味】YouTubeを観ること  
 【一言】早く仕事を覚えて皆様のお役に立てるように頑張りたいと思います。

## 特別養護老人ホーム上の原

### 上野志乃



【出身地】栃木県真岡市  
 【趣味】キャンプ  
 【一言】利用者様との時間を大切に、一生懸命お仕事をさせて頂きます。よろしくお願致します。

### 関成一郎



【出身地】栃木県真岡市  
 【趣味】スポーツ観戦  
 【一言】少しでも早く現場に慣れ、みなさんと楽しい日々を送れるよう頑張ります。

### 岡野雅史



【出身地】筑西市  
 【趣味】食べ歩き、ドライブ  
 【一言】早く仕事に慣れるように頑張ります。よろしくお願致します。

皆様のおついでを願っています

# 民生委員研修

## インタビュー

七月二十六日、民生委員の皆様による視察研修が行われました。新任の民生委員の方を中心に、福祉施設の様子を認識していただくことを目的とし開催されました。数名の方にインタビューをさせて頂きました。その一部をご紹介します。

### ★民生委員のやりがいとは★

地域の方々と交流を通して心を開いて色々話してくれた時にやりがいを感じます。施設見学を通して、入所者の笑顔や元気なお姿を見ていただけで、イキイキ、伸び伸びと暮らしをしている事がわかりました。さらによりよく生活できるように行政や施設関係、地域住民の方々と連携を深めていきたいと思いましたが。



### 写真掲載のお願い

広報誌の写真掲載は個人情報やプライバシーに配慮し、ご本人やご家族の了承の上で掲載しております。

# 苦情解決窓口

	成人事業部・地域生活支援事業部 (成人寮)		児童事業部	介護事業部
	入所・生活介護	共同生活援助	児童棟	特養
苦情解決責任者	杉山 真里 (成人寮) 宮田 雅仁 (樹々)	小松崎 直起 (さくら/こぶし、ステップ) 宮田 雅仁 (オリーブ/ゆず)	坪井 寿美雄	益子 茂
苦情受付担当者	佐藤 薫 (東棟) 浦田 郷恵 (西棟) 飯沼 美佳 (樹々)	関 和子 (さくら/こぶし) 飯沼 美佳 (オリーブ/ゆず) 丹波 優子 (ステップ)	篠崎 喜之	飯村 千恵
第三者委員	保護司 又村 和子 [TEL:0296-76-1148] 上の原病院事務部長 関口 清 [TEL:0282-31-2986] 上の原学園 [TEL:0296-75-2509]			

### 編集後記

今年例年になく暑い日が続き、世界的に見ても記録的な暑い一年となっているようです。その影響か花や植物の生育も例年と時期がずれているようで、各地の花の名所では花祭りの開催時期と見頃がずれてしまう事も。花も人も、置かれた環境の影響を受けて育ったり伸び悩んだりします。天候は時の運もありますが、その中でいかに気を配って大切にしながら育てられるかがその後大輪を咲かせるかに影響するようです。季節は秋。紅葉の季節の到来です。 永易 記